

スマイル タウン

2023
夏号

第326号

ひの社会教育センターは、市民のみなさまの
“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する
施設として、1969年に日野市と(財)社会教育協会が
協定書に基づいて設立しました。
今月もセンターで生きがいを味わう沢山の
市民の方々の活動をお伝えします。

おとな講座『韓国語』



語学を通じて、「文化」の交換

- ひの社会教育センター館長交代のご挨拶・対談
- 表紙の講師は…韓国語・朴 惠貞先生
- ひの社会教育センターからのご案内・賛助会・寄付お礼等
- 新コーナー「職員・スタッフの『わたしのサステナブル』」

館長交代特別企画 新旧館長・副館長の対談

令和5年春。3年半ほどの在任期間を終え、入手喬前館長が退任しました。

6月、正式に新館長に就任した阿部和広と、新副館長に就任した山本江里子との対談の様子をお届けします。

街の中での、ひの社会教育センターの立ち位置

阿部…館長として運営して頂いたのはここ数年ですが、最初にひの社会教育センター（以下、センター）を知ったのはいつ頃ですか？

入手…（前職の日野市職員として）働き始めた頃の20代、センターが開館した約50年前です。
当時、日野市は「青年講座」をセンターに委託して、その担当だった梅崎さん（前みなみだいら児童館館長）から声を掛けられたことが始まり。集団就職などで、地方から東京に来た若者が街にたくさん居た時代、そうした働く青年たちをひとりぼっちにしない、という目的で運営していた事業でした。

阿部…今でいうユース活動の先駆けですね。具体的にはどのような活動だったのでしょうか。

入手…イベントや勉強会、特に興味のあることについては「〇〇研究会」などを立ち上げ、サークル化したり、とにかく若者たちが集まっていました。

阿部…移転前のセンターには結婚式場、宿泊場所など、高度経済成長期の青年たちに必要なハード面が整えられていました。生活の一部になるように位置づいていたのかな？と思います。

入手…青年事業の中で若者とぶつかることもあったけれど、一緒に飲み食いする中で信頼を築いていくことがよくありました。八ヶ岳の大成荘（木造）で合宿したのも楽しい思い出です。

阿部…センターのボランティアリーダーたちとの付き合い方も、どこまで仕事で、どこから人としての付き合い？というジレンマはずっとあります。時代と共に、コミュニケーションツールは増えてきても、やはり今も顔を合わせて付き合い合う、じっくりと時間をかけるという部分は変わらないのかなと感じます。

入手…どこからでも参加できたので、他市で勤めていても、ここでの活動を自分の拠点の方へ持ち帰り活動を広げていった人も多かったです。
時代が移り、集団就職も終わり、社会的に仲間を必要とするところから、地域に住



↑ いつも優しく見守ってくださった入手前館長

んでいる人たちが来る場所へと変わっていききました。

阿部…今、また企業などで必要とされているつながりかもしれないですね。
コロナ禍は、生活の中で何を大切にするのか、ということを突き付けられている3年間だった気がします。ただ会社に行けばいい、ということでは価値を見出せなくなってきたように思います。

入手…インターネット社会の発展で、人間活動が変化した点で当時とは違いますね。

阿部…取り組むテーマは50年経ってもあまり変わっていないのかもしれないですね。「人と、どうするか」というテーマが、ずっとセンターが離れず持っているテーマかな、と。

私自身、ボランティアリーダーとして関わり始めてからは30年近くになります。田舎から出てきた自分が、当時あまり知り合いもなく、でもここに来ると田舎っぽい居心地の良さを感じていました。

これからのセンターに期待すること

入手…センターの成り立ちを語るときに外せない岩崎先生（開館当初の館長）が、当時あちこちに手を打ってくださったおかげで、様々な分野の専門家の方々がセンターのことを気にしてくださり、講座に立ってくださったりもしました。

阿部…おかげ様で、今も大学の先生や研究者の方が理事や評議員、講座の講師として関わってくれています。方向性が同じであればこそ、やり続けて下さっているのかなと思います。すが、すごく心強いです。

山本…これからのセンターの役割を考えると、日野市にはひとつしか公民館がなかったため、これまでも公民館的役割があったかな、と思いますが、日野市全体として捉えるとう思いますか？

入手…公民館、センター共に、それぞれの歴史の中で、社会教育施設として市民の文化的活動や学びを底上げしてきたと感じます。

阿部…日野市は市民活動が活発で、文化レベルが高いとずっと言われてきていますよね。

山本…これからも学びの意欲、学びの支えが出来るような場所として、市民活動など湧き上がってきたものを紹介していくようなことが出来たらいいなと考えています。





阿部…
動き出すまでの働きかけをしながら、主体性のある活動がたくさん生み出されるように伴走していききたいです。

山本…
人生100歳時代に入ったと言われ始め、毎日行ける場所があるといいなと思います。

「きょういく・きょうよう」が必要と言われています、これは、「教育・教養」と「今日行く・今日用(用事がある)」のダブルミーニング。人生の彩り、人と関わる場所を作り出す仕事としてやり続けていきたいと考えます。

地域に小さい文化活動が出来る場所として、日野市は50年前に地区センターを作ったのではないのでしょうか。団塊の世代が後期高齢者になった今、地域の活用方法を一緒に考えていききたいです。

阿部…
老朽化が問題となっている施設と、そうした地域に溢れる人の力を併せて、どういうプログラムを考えていくか、活路が見えてくるかな、と思います。

山本…
センターのデンマークツアーで訪れたカルチャーハウスは、地域の公民館的施設で、たった一人のスタッフで、週2日だけ開館し運営していました。地域の人から開館日以外にも使用申請があれば開放し、地域の人のアイデアや力を借り、一緒に楽しんで作っている、というヒントが盛りだくさんの施設でした。



↑ 入手前館長を中央に。右・阿部館長、左・山本副館長

阿部…
参加型だけど、どう世代間の意見の違いを取り入れて実現させていくか、対話で融合させて、両者の良いところりをして、新しい形を生み出していくことが必要だと思います。

入手…
ひの社会教育センターがデンマーク研修など福祉教育分野にも事業を広げ、センターの活動に厚みが加わっています。

また、センターが増えつつある後期高齢者の能力や経験を活かし、生き生きと活躍できる場面をたくさん作っていきけるといいですね。

ひの社会教育センターが日野市の中で、どのように育ってきたか、時に遠くから、時にとても密接にずっと見守ってきてくださった入手前館長。多くの社会課題との向き合い方を、指南してくださりました。

3年半、ありがとうございました。

表紙の講師紹介
『韓国語』講座

水曜日(月2回) 午前・午後・夜(コース別)
講師 朴 恵貞 先生

日本に留学し、教育分野の研究をしながら、韓国語教室を開き、これまで埼玉や東京都内、様々な場所を拠点に、活動されてきた朴先生。

数年前からひの社会教育センターでの講座がスタートし、現在3つのクラスを担当しています。

これまで従事していた研究の分野からは今は退き、これから自分が何をしたいか考えたときに、「好きなことをしたい」と、この春からは「簡単・やさしい韓国料理教室」も開講。食をとおして韓国文化を伝え、参加者の方と一緒に何かを作り、味わって分かち合う経験をしてみたいと、挑戦してくださいました。これからやりたいこととして、食文化を伝えるイベントや、韓国の歌や踊りの鑑賞、読書会など、どんどんと色々なアイデアが生まれます。



김밥 맛있어요!!
(キンパ おいしいですよ)

※料理教室は隔月開催中。次は9月です。
詳細はお問い合わせください。

韓国語講座

「はじめての韓国語・夜クラス」
19:30~20:30 会員募集中!!

韓国ドラマのセリフ、K-POPの歌詞が聞き取れるようになる!!
初めて習う方にぴったりのクラスです。
見学・体験受付中!



先生に
聞きました!

「皆さんとの韓国語講座、毎回違う発見や体験があり、わくわくして楽しいです。言語の習得は、土台をしっかり積んでいけば、失われないもの。しっかりと土台ほど揺れないのと同じです。」
『積んできたことは無駄じゃない』とは、ご自身の実体験から紡ぎ出された言葉のように受け取りました。



スピーカー
澤渡夏代
プラント



スピーカー
工藤勇一



“みんしゅしゅぎ”ってなんだろう？
民主主義ってどんなことか子どもと話ができますか？
教育者である工藤勇一さんと、民主主義が根ざす国デンマークで暮らす、澤渡夏代プラントさんを迎えて、これからの私たちの在り方を考え、実践していくためのトークイベントです。

～著者の澤渡夏代プラントさんと話す～
『デンマークにみる普段着のデモクラシー』オンライン読書会 開催
9/3(日)18:00～19:30 参加費は上記トークイベント参加費に含まれます(先着 20名)

申込方法等、詳細は、今後ひの社会教育センターホームページで更新します！

2022年度 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 贈呈品報告

2015年度から支援いただいている、イオンの幸せの黄色いレシートキャンペーン。皆さまのご協力と温かいご支援により、日野社会教育センターの活動応援へと寄せられたレシートの合計金額の1%にあたる、27,900 円のギフトカードを『イオン多摩平の森』様からいただきました。この場を借りて応援いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

いただいたギフトカードで、学習支援施設の参考書、子どもたちのクッキング講座などで使用するIH調理器などを購入させていただきました。



我が家には3歳の息子がいます。お洋服やおもちゃなどたくさん「おさがり」をいただきます。それはもう、とてもとてもありがたく使わせていただいていますし、大好きな人が大切にしていたものをいただけることをとてもうれしく思います。

でも、おさがりを人に譲ることって結構大変だと思うのです。忙しい毎日の中で、ひとつひとつ我が子の思い出に浸りながら、かわいいなあ～♡とおうかな～でも使ってくれるなら！と、お洋服なら、またお洗濯をして名前を書いたタグを切って、おもちゃならきれいにお掃除して... などなど。けれどその時間は我が子への想いと、贈るお子さんへの想いと、愛で溢れています。それを想うとおさがりっていいなああと心から思います。私もあつという間におさがりを贈る番になりそうです。お互いの気持ちがあってこそその「おさがり」私の中の大切なサステナブルです。

職員：小澤



賛助会へのご協力ありがとうございます

★順不同・敬称略

- ①個人会員 1口 1,000円
 赤堀みち子3口 越智久子5口 小野口敬一5口
 小俣純一3口 金子尚弘3口 金子美千代3口
 川松ゆり5口 窪田之喜・正子5口
 小林照明11口 榊原和子5口 佐藤ヒサ子10口
 志賀勝子3口 鈴木美奈子3口 高山和一3口
 只木貞吉3口 田村省三1口 鳥居由幸5口
 中野中3口 野田君江3口 橋本弥生5口
 原田茂・晴美10口 原梢5口 林幹高5口
 藤巻誠3口 古谷靖幸3口 山田佳子3口
 蜂屋弘之・道恵10口 近藤一彦1口
 森山千賀子9口 永井暁子3口 高橋治夫3口
 池田好洋10口 中澤洋10口 稗田吉勝30口
 湯口裕2口 千葉関夫3口 匿名7口
 柿田雅子
- ②団体会員 1口 5,000円
 いにしえ体操会2口 (株)オンリーワン1口
 劇団ひの2口 至誠第二保育園2口
 寿楽会3口 手話ダンスカワセミ1口
 大和興産(代表取締役 市原聖功)6口
 大和興産(庄司良弘)1口
 多摩平卓球サークル20口
 多摩平の森自治会2口 日野混声合唱団1口
 日野手品サークル1口 NKトラベル1口
 野外教育事務所ワンパク大学1口
 (株)アイキャン1口 島田組2口
 和太鼓サークル鼓っ子連4口

2023年 5/28(日)クリーニングデイ 賛助会ブース提供品販売の報告

5/28(日)に行われましたクリーニングデイにて、賛助会ブースとして皆様から提供していただいた品物を、販売いたしました。前日の準備から当日の販売、片づけまで賛助会の皆様にご協力いただき、当日の売り上げは10,800円、残りの物品は買取専門店にて買取いただき、4,965円、売上の合計は15,765円となりました。

皆さまご協力ありがとうございました。旧館でのバザー以来こうした取り組みは初めてとなり、急な呼びかけにも関わらず皆様にご協力いただけたこと、大変感謝いたします。今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

